

定期監査の概要

1 定期監査（財務監査・行政監査）の概要

(1) 対象所属

53所属

(2) 監査対象年度 令和6年度

(3) 定期監査の視点及び行政監査の項目

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項に規定された定期監査（財務監査・行政監査）について、同法第198条の3第1項に規定する四日市市監査基準に基づき、市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資するため監査を実施した。

監査等にあたっては、事務・事業の合規性及び正確性の視点はもとより、経済性、効率性、有効性の視点に加えて、事務・事業におけるリスクの存在と、それに対して内部統制が適切に整備・運用されているかを監査の着眼点とした。

また、定期監査（財務監査）に並行して行う行政監査として、行政運営が公正で効率的かつ効果的に行われているかを主眼として、次の項目について監査を実施した。

- ① 時間外勤務等の状況
- ② 業務執行上懸案となっている事項
- ③ 内部事務における管理・牽制体制の構築状況
- ④ 前回の定期監査の指摘事項及び意見についての対応

(4) 監査の結果

部局名	所属	勧告	指摘	意見	評価	監査サイクル	
						3年	6年
監査事務局	1	0件	0件	5件	0件	○	
消防本部	7	0件	2件	71件	0件	○	
市民生活部	5	0件	2件	44件	0件	○	
シティプロモーション部	3	0件	2件	37件	0件	○	
総務部	8	0件	3件	78件	1件	○	
選挙管理委員会事務局	1	0件	2件	5件	0件	○	
公平委員会事務局	1	0件	0件	3件	0件	○	
こども未来部	6	0件	4件	63件	0件	○	
地区市民センター	4	0件	1件	15件	0件		○
保育園・幼稚園・こども園	5	0件	2件	22件	2件		○
小学校・中学校	12	0件	2件	36件	3件		○
合計	53	0件	20件	379件	6件		

- ① 勧告：法令、条例、規則に違反しているもので、市の行財政運営や市民生活に重大な影響を及ぼすもの など

- ② **指摘**：経済性、効率性、有効性の観点や住民福祉の向上のため、直ちに改善を要するものやその他適正を欠く事項では是正する必要があると認められるもの など
- ③ **意見**：改善方法の検討などを促し、又は注意する必要があると認められるものや監査委員が特に要望する必要があると認められるもの など
- ④ **評価**：評価すると意見があった取り組み
- ⑤ **注意事項**：事務処理の誤りなど、速やかな是正を口頭にて注意したもの
件数は多く、適正な事務の確保のため、内部統制を有効なものとする必要がある。

●注意事項（件数）

	収入事務	現金等管理	支出事務	契約事務	公有財産管理	物品備品管理	公印管理	文書管理	人事管理 (時間外勤務)	その他	計
監査事務局											0
消防本部	1	2	4	7		6	1	5	3		29
市民生活部		2	4	5	2	5	3	7	4		32
シティプロモーション部			2	1		6		3	4		16
総務部			6	5	1	6	4	4	5		31
選挙管理委員会事務局		1		2					1		4
公平委員会事務局											0
こども未来部		3	9	11	2	6	1	7	21		60
地区市民センター		2	1	1	1	2	1	5	1		14
保育園・幼稚園・こども園			2	2	2	1		1	10		18
小学校・中学校		1	11		5	19	8	1	6		51
合計	1	11	39	34	13	51	18	33	55		255

2 監査の着眼点

(1) 想定されるリスクからの着眼点

監査等の対象に係るリスクが及ぼす影響の重要度の評価を踏まえて設定する。

この重要度の評価を行う場合においては、「リスクの発生可能性の程度」と「リスクが発現した場合の被害又は影響の程度」の2つの指標から行い、いずれの指標も高いものを影響の重要度が高いリスクとする。

(2) 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点

監査等の対象の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的（より少ない費用で実施すること）、効率的（同じ費用でより大きな成果を得ること）かつ効果的（所期の目的を達成していること、また、効果を挙げていること）に行われているか、住民の福祉の増進に寄与しているか等の視点から設定する。

3 監査の結果

監査事務局 (詳細はP28～31)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 事務の継承等に係るリスク
- ③ 監査事務局内の内部統制が適切になされないリスク
- ④ 専門的知見を必要とする監査におけるリスク

2 3E(経済性、効率性、有効性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 監査事務の効率化について
- ③ 監査の指摘に対する監査対象課の対応について
- ④ 電子決裁化への対応について
- ⑤ 事務局職員のスキルアップについて

消防本部 総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課
中消防署・北消防署・南消防署 (詳細はP33～48)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘【消防救急課】【予防保安課】

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現している所属があり、また、時間外勤務が年間360時間を超える職員がいる所属も見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 適切な業務継承に関するリスク
- ③ 備品の管理が適切に行われないリスク【意見】
- ④ 大規模災害時における他市町との応援・受援体制に係るリスク
- ⑤ 消防車両の更新に係るリスク
- ⑥ 救急出動における受け入れ医療機関との連携に係るリスク【意見】
- ⑦ 消火活動における消防団との連携に係るリスク
- ⑧ 火災予防事業の効果に係るリスク
- ⑨ 消防同意事務、危険物許認可事務の審査に係るリスク

2 3E(経済性、効率性、有効性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について【全所属】
- ② 例規の適正な整備について【総務課】
- ③ 公用車の運行にかかる運用について【全所属】

- ④ 個人情報の管理について【消防救急課】【情報指令課】【各消防署】
- ⑤ 預金通帳等の管理について【総務課】【消防救急課】【予防保安課】【情報指令課】
- ⑥ メンタルヘルス対策・対応を中心とした職場環境の整備について
【総務課】【消防救急課】【各消防署】
- ⑦ システム操作におけるマニュアルについて【全所属】
- ⑧ 消防隊や救急隊などの出動指令について【情報指令課】
- ⑨ 救急車及び消防車の効率的な出動について【総務課】【消防救急課】【各消防署】
- ⑩ 日勤救急隊の配置について【消防救急課】【中消防署】
- ⑪ 高度救助隊の待遇について【総務課】
- ⑫ 消防団の団員確保について【消防救急課】
- ⑬ 音楽隊への費用負担について【総務課】
- ⑭ 手数料収納のキャッシュレス化について【予防保安課】【各消防署】

市民生活部 市民生活課 (詳細はP50～54)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 地区市民センター業務に関する連携・調整にかかるリスク
- ③ 施設の運営管理に係るリスク【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 多文化共生の推進について
- ③ 自治会の法人化促進について
- ④ 自治会加入の促進について
- ⑤ 市政情報周知のデジタル化について
- ⑥ 館長権限予算について
- ⑦ 楠福社会館維持管理等負担金について

市民生活部 市民協働安全課 (詳細はP55～58)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう、業務の平準化に取り組むこと。

加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めるとともに、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 補助金が有効に活用されないリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② なやプラザの施設運営について
- ③ 客引き行為等適正化指導に当たる職員の確保について

市民生活部 男女共同参画課 （詳細はP59～63）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 個人情報管理におけるリスク【意見】
- ④ 男女共同参画センターの設置目的外に使用されるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 男性からも相談しやすい環境の整備について
- ③ 男女共同参画意識向上の取り組みについて
- ④ 公用車の駐車場について
- ⑤ 相談業務等にあたる職員のサポートについて
- ⑥ 審議会等の女性委員比率向上について
- ⑦ 男女共同参画センターの職員配置や人材育成について
- ⑧ 男女共同参画審議会の日程調整について

市民生活部 市民課 （詳細はP64～69）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。職員の心身の健康を守るため、時間外勤務の削減が喫緊の課題である。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、業務委託や会計年度任用職員の育成及び役割の検討、グループ間の応援体制など、正職員の負担軽減に繋がる取り組みを行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 個人情報の取り扱いにおけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 内部事務管理について
- ② カスタマーハラスメント対応について
- ③ DX化の推進について
- ④ 主要事業の評価指標について
- ⑤ マイナンバーカードの普及促進について
- ⑥ 津地方法務局四日市・桑名支局管内戸籍住民基本台帳事務研究会の負担金について

市民生活部 あさけプラザ （詳細はP70～73）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 施設利用者の安全性の確保におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 内部事務管理について
- ② 職員の業務負担の軽減について
- ③ あさけプラザのあり方について
- ④ 図書館の利用方法について

シティプロモーション部 観光交流課 （詳細はP75～78）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 内部事務管理について
- ② 地域資源を活用したシティプロモーションの推進について
- ③ ふるさと応援寄附金について
- ④ 大四日市まっりの猛暑対策について
- ⑤ 伊坂ダム周辺的环境整備について
- ⑥ 東海自然歩道連絡協議会の負担金について
- ⑦ 三重県観光連盟インバウンド委員会負担金について
- ⑧ 四日市市移住支援金について
- ⑨ 東海自然歩道維持管理業務について

シティプロモーション部 文化課 （詳細はP79～83）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 備品管理におけるリスク
- ③ 指定管理者との連携不足による業務停滞のリスク
- ④ 文化財の保存及び継承に関するリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 四日市市文化会館及び四日市市三浜文化会館の貸館について
- ③ 芸術文化に触れる機会の提供などについて
- ④ 埋蔵文化財等の活用について
- ⑤ 久留倍官衙遺跡公園について
- ⑥ 久留倍官衙遺跡資料館について
- ⑦ 御池沼沢植物群落について

シティプロモーション部 スポーツ課 （詳細はP84～88）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、一部の職員に業務が偏ったり所属長が過度に負担を抱えたりすることのないよう、所属全体で取り組むこと。イベント時などは部局全体でサポートする体制を整えるなどの対策を早急に行うとともに、民間の力を活用した業務負担の軽減についても研究すること。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 補助金が適切に支出されないリスク
- ④ 所管する施設の安全管理上のリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 指定管理業務委託協定書の規定について
- ③ 各種負担金の適正性について
- ④ 預金の管理について
- ⑤ 市の事務と四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル実行委員会事務局等の事務の区分について
- ⑥ 適正な施設使用料の設定について
- ⑦ 学校施設開放事業について
- ⑧ 施設利用者数の把握について

市民生活部 地区市民センター（詳細はP92～97）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員配置におけるリスク
- ② 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ③ 地区市民センター施設設備の管理が適切に行われないリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指摘

人事管理について【八郷地区市民センター】

複数の会計年度任用職員において、健康診断を受診したとき、本来無給とすべき職務専念義務免除を有給扱いで処理しており、報酬の支払誤りが生じている。所属長は制度への理解を深め、適正な人事管理の徹底を図ること。

意見

【共通事項】

- ① 内部事務管理について
- ② 現金等の取扱いについて
- ③ 施設使用料免除理由の記載について
- ④ 地域活動の担い手の確保について
- ⑤ 地域社会づくり事業の継承について
- ⑥ 外国人来館者への対応について
- ⑦ 貸館利用について

【塩浜地区市民センター・八郷地区市民センター】

- ⑧ 運行日誌の記載誤りにについて

【中部地区市民センター】

- ⑨ 防犯カメラの設置について
- ⑩ 管轄地区間の交流促進について
- ⑪ 収納金の入金記録について

【塩浜地区市民センター】

- ⑫ 重要書類の災害からの保護について
- ⑬ 適切な公有財産管理について

こども未来部 保育園・幼稚園・こども園 (詳細はP99～105)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 出先機関におけるリスク
- ④ 施設設備が安全に利用できないリスク【意見】
- ⑤ 多様化する課題に対して十分な保護者支援が行われないリスク【意見】

【保育園・こども園共通事項】

- ⑥ 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

- ① 消耗品の発注について【塩浜こども園・富田こども園】

消耗品の購入において、数回に分けて発注している事例が見受けられた。四日市市事務専決規程では10万円以上の物品の発注は調達契約課の専決事項となっている。ルールに則り、疑念や誤解を招くような契約は慎むこと。

- ② 人事管理について【富田こども園】

会計年度任用職員の無給の特別休暇の取得にあたり、上限の算定を誤り本来の上限を超えて取得した事例や、年次有給休暇が残っているにもかかわらず欠勤として処理をした事例が見受けられた。休暇の適正な取得について、改めて会計年度任用職員に周知するとともに、園長は人事課から提供される資料を参照して制度への理解を深めるなど、適正な人事管理の徹底を図ること。

意 見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- ① 内部事務管理について
- ② ヒヤリハットの記録管理について
- ③ 現金の取り扱いについて
- ④ 暑さ対策について
- ⑤ 不適切保育の防止について
- ⑥ 外国語による伝達について
- ⑦ 園児の卒園後の状況について
- ⑧ 幼児教育センターの活用について

【保育幼稚園課】

- ⑨ 例規の適正な整備について

【こども園共通事項】

- ⑩ 教育の質について

【磯津保育園】

- ⑪ 危機管理について

【八郷こども園】

- ⑫ 耐震対策について
- ⑬ 照明器具の更新について

評 価

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

① インスタグラムの活用について

園からの情報発信として、個人情報に配慮しながらインスタグラムを活用して園児の様子を届けており、保護者からも評判を得ている点は評価できる。今後も各園において、効果的かつタイムリーな情報発信に努められたい。

② 安全対策について

窓への飛散防止フィルムの貼り付け、蛍光灯への飛散防止カバーの設置がなされており、安全に配慮している点が評価できる。

教育委員会 小学校・中学校 （詳細はP107～115）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【小・中学校共通事項】

① 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】

指 摘 【浜田小学校、港中学校、富田中学校、中部中学校、朝明中学校、塩浜中学校】

教職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認を行うこと。加えて、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めるとともに、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を図ること。

② 備品の管理が適切に行われないリスク

③ 理科薬品の適正な管理におけるリスク 【意見】

④ 公金に準じる現預金の取り扱い及び保管に係るリスク 【意見】

【中学校共通事項】

⑤ 教員の部活動における業務負担に関するリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

内部事務管理について 【中部西小学校】

令和6年度に発生した財務帳票作成の遅滞等の不適切な事務執行について、事案を重く受け止めるとともに、事務職員個人の責任とせず組織的な課題として捉え、再発防止に取り組むこと。また、今後は管理職による事務処理状況の定期的な確認と進捗管理を徹底し、複数職員によるチェック体制の構築、全教職員での情報共有及び共同学校事務室との連携強化により、組織的な事務執行体制を確立すること。併せて風通しがよく、職員が相談しやすい職場環境づくりに取り組むこと。

意 見

【小・中学校共通事項】

① 内部事務管理について

② 市費による教員配置の効果について

③ 支援を要する児童・生徒への対応について

④ 学校内におけるいじめ、不登校等への対応について

⑤ 教育におけるデジタル活用について

- ⑥ 学校の防犯対策について
- ⑦ 児童・生徒への交通安全指導について
- ⑧ 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援について
- ⑨ 単学級における教育環境について
- ⑩ 学校給食について
- ⑪ 下校時の暑さ対策の強化について
- ⑫ オンラインによる授業等の実施について
- ⑬ 教職員の働きやすい職場環境の構築について
- ⑭ 校外への情報の持ち出しについて
- ⑮ 校内の環境整備について

【小学校共通事項】

- ⑯ 水泳授業の民間委託について

【八郷小学校】

- ⑰ 水害対策について

【八郷西小学校】

- ⑱ プールへの通路について

【中部西小学校】

- ⑲ 校内の環境整備について

【港中学校】

- ⑳ 物品等の管理について

評 価

【八郷西小学校】

- ① 不登校児童の対応について

不登校児童への対応は、学校独自の取り組みとして、学習とカウンセリングを行えるカウンセリングルームを設置することで登校できるようになった児童がいることは評価できる。効果のあった事例として他校へ取り組みを共有するなどしながら継続して取り組まれない。

- ② 会議等の時間設定について

会議の所要時間を決めて短縮を図っていることで会議の内容が充実したものとなり、また職員の働き方改革にもつながっているとのことである。こうした取り組み状況を他の学校への共有にも努めること。

【港中学校】

- ③ 理科準備室内の物品の整理について

理科準備室の棚は写真を用いて整理するなど適切に管理されていた。この取り組みを他校へ波及し継続して適正な物品の管理に努められたい。

総務部 総務課 (詳細はP117～121)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】
- ② 公印の管理が適切になされないリスク 【意見】

- ③ 申請書等の押印の取り扱いの特例に関する規則・要綱と実態に齟齬があるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 重要備品陳腐化について
- ③ 公文書の電子化の進捗について
- ④ 働き方改革について
- ⑤ 三重県北勢防衛協会への拠出金について

総務部 人事課 （詳細はP122～127）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 新規採用職員の確保と適正数の人員配置におけるリスク【意見】
- ③ 個人情報管理におけるリスク【意見】
- ④ 職員の病気休職におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 職員の時間外勤務の削減について
- ③ 職員の安全衛生管理について
- ④ 管理職の労働環境について
- ⑤ 職員の任用にかかる指標について
- ⑥ 特定保健指導について
- ⑦ 福利厚生を整備について

総務部 職員研修所 （詳細はP128～131）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 各研修等実施団体に支出する負担金が有効活用されないリスク
- ④ 事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われないリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 内部事務管理について
- ② 資格取得等奨励金について
- ③ 休職者等への研修受講機会の提供について

総務部 調達契約課 （詳細はP132～135）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 各所属の適正な契約事務等の執行における内部統制上のリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 内部事務管理について
- ② 電子入札システムの対象拡大について
- ③ 入札不調の回避について
- ④ 予定価格の公表時期について
- ⑤ 長期継続契約に係る条例制定の必要性について

総務部 工事検査課 （詳細はP136～138）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 適切な兼務検査員が選定できないリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

- ① 三重県市町工事検査担当協議会について
- ② 若手職員の育成について
- ③ 工事完成時期の平準化について

評価

監査事務局による抽出調査において、事務処理誤りが前回定期監査に引き続き発生しなかったこと、また自所属で誤りを見つけ訂正を行ったことは評価できる。引き続き基本的なルールを遵守し、他所属の模範となる事務処理を継続すること。

総務部 デジタル戦略課 （詳細はP139～143）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等

を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

- ② 機密情報や個人情報漏洩するリスク【意見】
- ③ 大規模停電、災害、機器の故障等またはプログラムミス等により行政サービスが停滞するリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② デジタル技術の活用と継承による業務改革について
- ③ 業務委託契約における再委託の可否について
- ④ デジタル人材育成の今後の取り組みについて
- ⑤ テレワークの実施について
- ⑥ デジタル化の推進について

総務部 人権・同和政策課（詳細はP144～148）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 人権・同和政策課、人権センター、人権・同和教育課の役割分担や連携にかかるリスク

【意見】

- ④ 事務職の工事発注におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指摘

普通財産の売却手続について

普通財産の売却手続において、不適切な事務処理が見受けられた。関係規定等に基づく適正な事務執行を徹底するとともに、複数の職員による内部チェック体制を整備すること。

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 同和行政における施策の妥当性について
- ③ 大型共同作業所の取扱いについて
- ④ インターネット上の人権侵害への対応について

総務部 人権センター（詳細はP149～153）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 個人情報管理におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② あらゆる差別の解消について
- ③ 人権3課の連携、組織体制について
- ④ 会議の有効活用について
- ⑤ 事業の周知について
- ⑥ 人権相談の対応と記録の保管について
- ⑦ 現金の適切な管理について
- ⑧ 地域の人権活動発展への取り組みについて
- ⑨ 市民意識調査業務委託について

選挙管理委員会事務局（詳細はP154～157）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

- ① 厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう、業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めるとともに、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現するよう努めること。
- ② 選挙管理委員会事務局では選挙期間中における業務負担が集中し、職員の時間外勤務が過大なものとなっている。職員の健康面からも繁忙期中のみ会計年度任用職員の増員を行ったり、併任となっている総務課職員の業務負担を見直すなど、様々な方法を検討し、現状の改善に努めること。
- ② 期日前投票の適正な執行に係るリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 常時啓発について
- ③ 投票環境の整備について

公平委員会事務局（詳細はP158～159）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① ノウハウが容易に継承されないリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 不服申し立て制度について

- ② 職員の相談対応について
- ③ 公平委員の情報共有

こども未来部 こども未来課 (詳細はP161～165)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 所管する施設の安全管理上のリスク
- ④ 補助金が適切に支出されないリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

内部事務管理について

支払遅延、報償金の支出先誤り、過払金の返還の遅れによる遅延損害金の発生など重大な問題も含め、内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。部の主管課としてこの課題は非常に大きく、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内での確認・牽制体制が十分に機能していないと考えられる。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備すること。また、新たに異動してきた職員の視点を活かした確認なども実施し、内部事務管理の徹底を図ること。

再発防止のため、特に支払遅延については法律で定められていることを再認識し、デジタル技術を活用したチェック機能強化などにより、有効な仕組みづくりを検討すること。

加えて、所属長は決裁権者や出納員としての自らの責任をあらためて認識し、決裁を確認する他の職員も自身の業務の重みを認識して、適正に決裁を行うこと。

意 見

- ① 各種事業の効果検証や実効性を高める支援について
- ② 児童館職員の雇用形態について
- ③ あそびや自然体験活動を通じた児童や青少年の健全育成について
- ④ 病児保育室の周知について
- ⑤ 学童保育所補助について

こども未来部 こども手当・医療給付課 (詳細はP166～170)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 組織機構変更におけるリスク【意見】
- ④ 滞納債権の整理におけるリスク【意見】

指 摘

納期限までに納付されていないものについて、督促状が送付されていなかった。滞納整理にあたっては、法令に則った事務執行に努めること。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 窓口業務におけるデジタル化の推進について
- ③ 評価指標と職員のモチベーションについて
- ④ 少額契約を行う業者について
- ⑤ プライバシーの保護について
- ⑥ 助成制度のあり方と周知について

こども未来部 こども家庭センター （詳細はP171～174）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② こども家庭相談に係る専門職員の確保や維持ができないリスク【意見】
- ③ 組織機構変更におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 児童虐待への対応について
- ③ 滞納金の回収について

こども未来部 こども発達支援課 （詳細はP175～179）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 発達に課題のある児童への支援に係るリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 5歳児アンケートの回収について

- ③ 5歳児健診の実施について
- ④ 児童発達支援における取り組みの連携について
- ⑤ 専門相談員の業務継承について
- ⑥ 相談業務等に係る人員体制の見直しについて
- ⑦ 通所給付決定の判断手法について
- ⑧ 園巡回発達相談について
- ⑨ 物価高騰対策緊急支援事業費について
- ⑩ 主要事業の評価について

こども未来部 児童発達支援センターあけぼの学園 (詳細はP180～183)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**
- ② こどもへ必要な支援が行われないリスク
- ③ 発達支援や相談支援が途切れるリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 旧あけぼの学園通園部の土地管理について
- ③ 職員の配置について
- ④ 市民への情報発信について
- ⑤ 児童発達支援の実施日について
- ⑥ 職場環境の整備について
- ⑦ 施設の維持管理等について
- ⑧ 保護者との連絡手段について
- ⑨ 滞納金の徴収について
- ⑩ 収納金の納付について

こども未来部 保育幼稚園課 (詳細はP184～189)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況を解消すること。

なお、デジタル技術の活用においては、必要に応じて民間事業者の協力を得るなどして取り組むこと。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 個人情報の取り扱いにおけるリスク【意見】
- ④ 保育園等における支出事務等に対する内部統制上のリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 支出科目について
- ③ 保育体制の整備について
- ④ 不適切保育の防止について
- ⑤ ハラスメント対策について
- ⑥ 滞納整理について
- ⑦ 借用物件の使用料契約について